1 目指す姿と検討すべき対策の柱

目指す姿

- 〇将来の在宅医療の医療需要に見合った在宅医療の供給体制の整備
- ○医療関係者及び多職種の連携により、安心で質の高いケアの提供体制の構築(※)
- ○在宅医療やかかりつけ医等についての市民理解の促進

(※)在宅医療・介護連携推進事業とあわせて推進

1 在宅医療を支える連携体制の構築

- ①医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討
- (医師のグループ化等による連携や引継ぎ等)
- ② 訪問看護の事業所間の協力支援体制の構築(ネットワーク化)
- ③病病連携・病診連携等の促進

急変時における入院受入れ体制の検討(バックベッドの問題)、

情報共有による連携促進の工夫(地域連携パス・ICTの研究・医療資源等のリスト化)病院連携室の対応の均てん化 等

2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上

(診療所医師·病院医師·病院看護師·退院支援担当者· 薬剤師·歯科医師·施設職員等) 3 市民への啓発・情報提供

; 適正な病床機能やかかりつけ医、在宅医 ; 療という選択肢、最期の迎え方等につい ; て、市民啓発や情報提供のあり方の検討

2 平成30年度の進め方

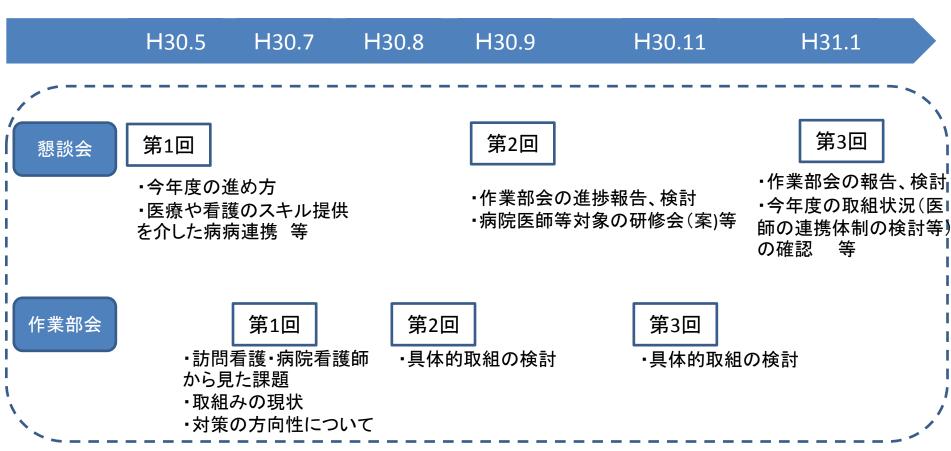
懇談会(年3回)と作業部会(年3回)を開催予定。

作業部会では、訪問看護の諸課題についての対策案を検討(資料2-2)。

対策の柱ごとに、関係機関においても具体的な対策案や取組みについてご検討、推進いただきたい。

検討す <u>べき対策の柱</u>		機関		検討事項・取組みの概要
1 在宅医療を 支える連携体 制の構築	①医師の在宅医療に対する負担軽減のための 連携体制の検討	<mark>医師会</mark> 高齢者対策 委員会等		看取りの時期が近い方の医師の代理体制、重 症化した方の対応可能な診療所の紹介、強化 型在支診のためのグループ化等について、具 体的検討を進めていただく
	② <mark>訪問看護</mark> の事業所間 の協力支援体制の構築	介護保険事業 者連絡会(訪問 看護部会)と市	作業部会	人材確保策や、事業所間及び病院看護師等と の連携についての具体策を検討していく
	③病病連携・病診連携等 の推進	懇談会		病院の在宅療養患者への対応状況についての情報提供、医療や看護のスキル提供を介した 病病連携のあり方等について、懇談会等にてご 協議いただく
2 医療関係者 等の理解や知 識・スキルの向 上	在宅医療や在宅療養、 在宅看取り等についての 知識や理解、技術の向	懇談会構成各機関		他機関の例を参考にしながら、各主体において、 自院及び広く自院以外の医療関係者も対象と するような研修会等を、引き続き実施・ご検討い ただく
	上	市		(仮)病院医師及び看護師対象の研修会実施 の検討
3 市民への啓 発・情報提供	病床機能やかかりつけ 医、在宅医療という選択 肢、最期の迎え方等につ いて、市民啓発や情報提 供	市 懇談会構成各機関		市主催の講演会の実施予定 各主体も市民に向けた啓発の実施をご検討い ただきたい

3 年間スケジュールのイメージ



(※)各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり